



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和7年度1月号
令和8年1月8日
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

心が変われば

明けておめでとうございます

校長 島村 直人

令和8年の幕開けです。教職員・生徒一同とともに、保護者の皆様、地域の皆様、全ての力をお借りし、この志木の森学園が志木市、地域の拠り所となり、現代の教育をリードしていくような存在になるよう、大きな志をもって本年も取り組んでまいります。今年もよろしくお願いいたします。

心が変われば 言葉が変わる

言葉を変えれば 雰囲気が変わる

雰囲気を変えれば 態度が変わる

態度を変えれば 行動が変わる

行動を変えれば 習慣が変わる

習慣を変えれば 性格が変わる

性格を変えれば 人格が変わる

人格を変えれば 運命が変わる

運命を変えれば 人生が変わる

これは、「達磨大師の言葉」です。この様に、『何かを変えることで次の何かが変わる』という教えにより、人としてのあるべき姿、生き方の道筋を大師は示してくれています。

「心が変われば 言葉が変わる」心が変わると言葉が変わるのです。私たち大人は、心豊かな子どもたちに育てるため日夜がんばっています。その成果は達磨大師の言葉を借ると、まず「子どもの言葉」という形になって表れるということになります。言い換えれば、子どもの言葉が良くなり、初めて子どもたちに豊かな心が育ってきたとも言えます。ご家庭での子どもたちの言葉づかいはいかがですか？

ずいぶん昔の話となってしましますが、我が家でも、子どもの口調・言い回しが私にそっくりなことに気づいた時はショックと大いに反省したことを思い出します。子どものロールモデルである私たち大人は、言葉づかいは気遣いたいです。毎年多くの3年生の面接練習をしています。そこで感じたことは、可能な限り美しい日本語を常に使い、正しい日本語を使う習慣を身に付けて卒業して欲しいという思いです。年の初めに改めて昨年1年間の子供たちの努力と成果（成長の様子）と一緒に確かめてください。そして、今年何をすべきか、優先順位をつけて確認をしていただきたいと思います。

最近、真面目な生き方や努力を正當に評価せず、揶揄したり刹那的な笑いに変わってしまったという風潮が、子どもを含めた社会全体に蔓延しているような印象を受けます。これが、日本人の道徳性や社会規範低下の温床になっているとさえ思っています。年の初めに、人が誠心誠意考え、行動し、生きていくことは大変価値のあることなのだということを、ご家庭でも子どもたちにぜひ伝えていただければと思います。